

学校を問い直す

精神的に自立した人間の育成

—「教科する教科学習」と「人間道徳」の実践を通して—

令和3年度 研究発表会のご案内【第2次】

教科学習の
根幹を
見失わない
授業デザイン
とは？

教養

省察性

教科する
教科学習

ごあいさつ

コロナ禍の中で未来が見えにくくなっています。大人でさえ判断が難しい現実の中で生徒たちにどのような力を育てていかなければならないのでしょうか。前回の研究発表会の後、私たちは学校を問い直し、教育の原点に立ち戻りました。そして「自ら立ちつつ共に生きることを学ぶ 今日に生きつつ明日を志すことを学ぶ」という附属高松中学校の教育目標に基づいて、教育そのものを見直しました。今回の研究発表会のテーマは、「学校を問い直す 精神的に自立した人間の育成 —『教科する教科学習』と『人間道徳』の実践を通して—」です。「精神的に自立した人間」であるためにはまず「自ら立つ」力と、友達や人々と連携して「共に生きる」力が必要です。さらに「今日に生きつつ」すなわち、今の現実の問題を真摯に受け止め判断し目的をもって行動していく力と同時に、そこから自己や社会の未来を展望していく力も必要です。この令和3年の研究発表会において古くて新しいカリキュラムの在り方をご参会いただける皆様にご提案いたします。皆様の忌憚のないご意見を賜りたく存じます。

香川大学教育学部附属高松中学校
校長 佐藤 明宏

日時 令和3年 6月10日(木) 12:20～16:45 (国、数、理、美、保体)
6月11日(金) 12:20～16:45 (社、音、技・家、英、養護)

場所 香川大学教育学部附属高松中学校
〒761-8082 香川県高松市鹿角町 394 番地 TEL087-886-2121 FAX087-886-2124

主催 香川大学教育学部附属高松中学校

後援 香川県教育委員会 香川県中学校長会 香川県中学校教育研究会
高松市教育委員会 高松地区中学校長会 香川県中学校教育研究会高松支部

日 程

6月10日(木)

11:40	12:20	13:10	13:30	14:20	14:30	15:30	15:45	16:45 ~
受付	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ	移動	授業討議	移動	講演会 磯田文雄先生、木村裕先生	事務 連絡

6月11日(金)

11:40	12:20	13:10	13:30	14:20	14:30	15:30	15:45	16:45 ~
受付	公開授業Ⅲ	移動	公開授業Ⅳ	移動	授業討議 養護部会	移動	講演会 安彦忠彦先生、岡田涼先生	事務 連絡

全体提案・人間道徳紹介

事前の映像配信

今大会では全体提案と人間道徳紹介を事前に映像で配信します。5月10日～6月30日まで本校ホームページで配信いたしますのでご覧ください。大会での全体提案、人間道徳紹介の時間はありません。

全体提案

本校では、教科する教科学習（各教科ならではのもしろさや魅力、その教科を学ぶ意義の実感につながる知のプロセスに参加する教科学習）と省察性（多様な他者や社会との関係の中で「なぜそうなのか」「本当にこれでよいのか」「何があるべき姿なのか」を考え、自己の生き方・在り方を問い直して調整していこうとするその人の態度や性質）を高める、人間道徳を実践して精神的に自立した人間を育成することを目指します。



人間道徳紹介

本校では、総合的な学習の時間と特別の教科 道徳の性質をあわせもつ新領域「人間道徳」を設置しています。省察性や問題解決で必要となる資質・能力を高める方略を紹介します。



6月10日(木)

公開授業Ⅰ

12:20～13:10

教科	単元名 授業説明	授業者 (学年・組)	授業会場 上限枠人数
国語	文学作品を味わうとは ～『星の花が降るころに』の魅力进行分析しよう～ 比べ読みを行うことで『星の花が降るころに』をさらに分析的に読み進める。文学作品を分析する観点を獲得することで見てくる作品の特徴は？またそこからわかる作品の魅力とは何か。	一田 幸子 (1年2組)	多目2・24教室 20人
数学	図形と相似 ～A3をB6に縮小する倍率は？～ A3の絵をB6サイズの手帳に縮小して挟むにはどうすればよいのか。用紙を動かして見つけた決まりを手掛かりに既習内容と関連付けて解決を目指す。日常の事象を数学として捉える生徒の姿に注目。	太田 隆志 (3年1組)	尚生館 25人
理科	生物と環境「自然界のつくり合いと物質の循環」 生態系や自然環境に関する題材（香川県産カタクチイワシ）を科学的に探究することで、結果を基に論を構築し、豊かな自然観を養う。自律的な探究を促す手立てや方略は、果たして有効なのか・・・。	赤木 隆宏 (3年2組)	建心館 35人
保健体育	球技「ゴール型（サッカー）」～スペースを支配し、大量得点をめざせ！～ 球技の本質的な面白さである「味方と連携して得点すること」。たくさん得点するためには、いつ、どこに、どのように動けばよいのかを、映像分析を基に生徒たちが考えていく。	藤本 光 (2年1組)	体育館 35人

6月10日(木)

公開授業Ⅱ

13:30～14:20

教科	単元名 授業説明	授業者 (学年・組)	授業会場 上限枠人数
国語	変化の中で生きる人間像 ～『故郷』の探究を通して～ 文学的文章の「登場人物」に着目して読み深めることで、現代を生きる中学生の視点から作品に描かれた人間像に迫る。作品の背景等に目を向けた時、生徒の人物に対する捉えはどう変化するか。	額田 淳子 (3年3組)	多目2・24教室 20人
数学	文字の式 ～3×3型魔方陣はどのようにすれば作成できるのか～ 「3×3型魔方陣」はどのような決まりがあるのか？魔方陣を作成する中で見えてくる決まりを手掛かりに既習内容と関連付けて解決を目指す。3×3魔方陣を統合的に捉えていく生徒の姿に注目。	山下 裕平 (1年3組)	尚生館 25人
理科	化学変化と原子・分子「化学変化と熱の出入り」 身のまわりのもの(化学カイロ)を化学変化という視点で見つめ直し、生まれた疑問や課題を科学的に探究する。ラボノートを活用し、より妥当な論の構築を目指し、意見を共有する生徒の姿に注目。	萱野 大樹 (2年3組)	建心館 35人
美術	じがぞう ～わたしがわたしを表現するときの「美」って？～ 表現と鑑賞を経て、もう一度表現へ。鑑賞によって変化する自画像観、自分像…そのなかで自分にとってよりよい「じがぞう」を探っていこうとする姿に注目。	中川 佳洋 (2年2組)	美術室 15人
保健体育	ダンス「創作ダンス」～思いのままに魅せろ、附中ダンサーズ～ 「椅子のある風景」から得たイメージをどのように表現すれば、見ている人をひきつけるのだろうか。ダンスキーワードを手掛かりに、試行錯誤しながらダンス作品を創り上げていく姿に注目。	芝野 明莉 (1年1組)	体育館 35人

6月11日（金）		公開授業Ⅲ		12:20～13:10	
教 科		単 元 名 授 業 説 明		授業者 （学年・組）	
社 会		九州地方 ～自然環境に注目して～ 九州地方の特色を、自然環境を軸に学ぶ。新旧地形図・他県と比較し、鹿児島にしかできない茶生産の拡大の秘密を探る。生徒は鹿児島島の地に生きる人の思いや戦略に気づくことができるのか。		宮武 昌代 （2年2組）	
		近代の日本と世界 ～一等国を目指した日本の姿～ 当時の新聞記事等を読解し、大正デモクラシーの勃興と終焉の理由に迫る。社会運動の盛衰と法整備等による社会の風潮の変化に着目させ、社会や個人の幸福を追求する国家の在るべき姿を構想する。		高橋 範久 （3年3組）	
英 語		How can we make “My report” better? 英字新聞から学んだことを生かし、海外の中学生に向けて、より魅力が伝わる“My Report”の完成を目指す！お互いに意見を交換しながら、再構成していく生徒の姿に注目。		佐藤 梨香 （3年1組）	
				体育館	
				建心館	
				35人	
				多目2・24教室 20人	

6月11日（金） 公開授業Ⅳ 13:30～14:20				
教科	単元名 授業説明	授業者 （学年・組）	授業会場 上限枠人数	
社会	市場の働きと経済 ～投資信託を開発する～ 投資信託という金融商品を教材にして、金融の世界の奥深さに生徒を出合わせる。投資信託の開発会社と交流しながら、個人と社会の両方を豊かにする商品へと生徒はどこまで練り上げられるのか。	小野 智史 （3年2組）	建心館 35人	
音楽	音や音楽の魅力を見つけよう 身近な音や音楽から音楽の魅力を探る。歌唱や鑑賞の授業で扱う教材曲の音と音とのつながり方やリズム等によって生み出される曲想を捉え、「喜」をテーマとして創作表現につなげていく。	小澤 聡 （1年1組）	音楽室 10人	
技術・家庭 （技術）	材料と加工の技術「生活に生かすものづくり」 ～生活に役立つオリジナル作品の製作～ たかが紙、されど紙！既習したことをもとにペーパーブリッジコンテストに挑戦。個人、グループで、強度の世界に引き込まれていく生徒。体験し感じたことを製作構想段階の作品に生かしていく。	有友 誠 （1年2組）	技術室 15人	
技術・家庭 （家庭）	〈衣食住の生活についての課題と実践〉食と防災 ～「生きていく」ための知恵と備え～ 地震発生から4日後、限られた備蓄食材のみで1週間の夕食献立作りに挑戦。家庭の備蓄調査と既習内容をもとに、家族の健康を守るため、自分発信で家庭やこれからの生活につないでいく。	和田 美紀 （2年3組）	家庭科室 15人	
英語	What is your message? 映画「イルカと少年」のあらすじを読む。実際に怪我をしたイルカの世話をしたスタッフや海洋保護に取り組む人の話を聞いた上で、主人公のソーや少年になりきってスピーチを行う。	三野孝一郎 （2年1組）	多目2・24教室 20人	

授業討議・養護部会 14:30～15:30				
教科・部会	発表者	司会者(中学校) 記録者(中学校)	指導助言者 (香川大学)	指導助言者 (教育委員会関係)
国語	額田 淳子 一田 幸子	田村 恭子(附属坂出) 木村 香織(附属坂出)	山本 茂喜	藤崎 裕子 (香川県教育委員会事務局義務教育課)
社会	小野 智史 高橋 範久 宮武 昌代	大西 正芳(附属坂出) 藤本 大貴(附属坂出)	鈴木 正行	大和田 俊 (香川県教育委員会事務局義務教育課)
数学	太田 隆志 山下 裕平	渡辺 宏司(附属坂出) 吉田 真人(附属坂出)	松島 充	小山 圭 (香川県教育委員会事務局義務教育課)
理科	赤木 隆宏 萱野 大樹	山下 慎平(附属坂出) 島根 雅史(附属坂出)	笠 潤平	兒島洋一郎 (香川県教育委員会東部教育事務所)
音楽	小澤 聡	森 英起(香 東) 木村 一裕(古高松)	岡田 知也	藤原 由宜 (香川県教育センター)
美術	中川 佳洋	渡邊 洋往(附属坂出) 金丸 高士(勝 賀)	古草 敦史	高木 愛 (高松市立龍雲中学校教頭)
保健体育	藤本 光 芝野 明莉	徳永 貴仁(附属坂出) 石川 敦子(附属坂出)	米村 耕平	増田 一仁 (香川県教育委員会事務局保健体育課)
技術・家庭 （技術）	有友 誠	渡邊 広規(附属坂出) 大西 昌代(附属坂出)	宮崎 英一	佐々木 徹 (丸亀市立飯山中学校校長)
技術・家庭 （家庭）	和田 美紀		畦 五月	芳我 清加 (香川県教育センター)
英語	三野孝一郎 佐藤 梨香	眞鍋 容子(附属坂出) 黒田 健太(附属坂出)	中住 幸治	坂本 幸治 (香川県教育委員会事務局義務教育課)
養護	山本 早貴 ※養護部会の 上限枠人数は35人です	養護部会提案内容：自治能力を育成する生徒保健委員会の指導の在り方 ー保健委員会活動への動機づけ要因に着目した働きかけを通してー		
		日本 亜矢(附属坂出) 宮地 紘子(附属高松小)	宮本 賢作	橘 和代 (香川県教育委員会事務局保健体育課)

講演会内容 附高中からの提案と講師からの発題による鼎談 ～それぞれのご専門から～

6
月
10
日
(木)**磯田 文雄先生**

花園大学学長

教育社会学,
教育行政・財政**木村 裕先生**滋賀県立大学
准教授教育方法学
(カリキュラム論,
授業論, 教育評価論等)

10日, 11日
ともに2人の講
師の先生と本校
研究主任の3人
が登壇します。

実践校として
の本研究の具体
を題材に, それ
ぞれのご専門か
ら中学校カリキ
ュラムの在るべ
き姿を語り合い
ます。

6
月
11
日
(金)**安彦 忠彦先生**名古屋大学
名誉教授カリキュラム学,
教育評価**岡田 涼先生**

香川大学准教授

教育心理学
(学習意欲,
自己調整学習等)

本校にお越しの方へ

- 自家用車
運動場を駐車場としてご使用いただけます。
北門よりご入場ください。
- ことでんバス
鹿角線, 香川中央高校行き「鹿角」下車
南へ およそ200m
- ことでん(琴平線)
太田駅下車 西へ およそ1500m



参加費・申込方法について

- 参加費 **無料**
- 申込方法 本校ホームページ上の申込フォームから, webでお申し込みください。本校ホームページはこちら。

<https://www.tch.ed.kagawa-u.ac.jp/>

附属高松中学校

検索

- 参加者は県内在住の教育関係者に限ります。
- 公開授業, 授業討議, 養護部会, 講演会について, 各会場の参観者の上限枠を設け, 先着順になります。上限枠に入らなかった方は, 本校内の別教室におけるサテライト参観となります。
- 大学生の方は, サテライト参観となります。
- 申し込み人数が上限枠に達したかどうかは, 随時, ホームページと申込フォーム内に掲載します。
- 公開授業, 授業討議, 養護部会, 講演会について参観していただく会場は, 大会1週間前にメールでお知らせします。
- 申込期間 **令和3年5月10日(月)9時～5月31日(月)17時**
※ 参加申し込みは, 原則 web 申し込みとなります。web による申し込みができない場合, ホームページの FAX 申込書をダウンロードして印刷いただき, 必要事項を記入の上, FAX (087-886-2124) までお申し込みください。
- お問い合わせ先: 087-886-2121 または kenkyuhappyoukai@kagawa-u.ac.jp まで



- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 様々な制約がある中での大会となります。また, 今後の状況によっては研究発表会を中止せざるを得ない場合もございます。その場合は, 申し込みで登録いただいたメール等でお知らせいたします。大会においては様々な感染対策をお願いすることとなりますが, 何卒ご協力のほどをよろしくお願いいたします。